

# 衆議院予算委員会ニュース

平成 21.5.12 第 171 回国会第 27 号

5月12日(火)、第27回の委員会が開かれました。

- 1 平成 21 年度一般会計補正予算(第 1 号)  
平成 21 年度特別会計補正予算(特第 1 号)  
平成 21 年度政府関係機関補正予算(機第 1 号)  
・今後の日本社会について、麻生内閣総理大臣、鳩山総務大臣、与謝野財務大臣、塩谷文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、石破農林水産大臣、金子国土交通大臣、甘利国務大臣(公務員制度改革担当大臣)及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

## 鈴木恒夫君(自民)

- ・いわゆる「政治とカネ」問題及び小沢民主党代表の辞意表明に対する麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・自殺者問題については、あるべき国家観を踏まえた根源的な対策をとる必要があるのではないか。
- ・国会議員の世襲制限についての麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。

## 上田勇君(公明)

- ・核軍縮及び大量破壊兵器の不拡散に対する麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・補正予算における新型インフルエンザ対策事業費の目的、内容及び今後の対策はどのようなものか。
- ・基金設立等による実質的な多年度支出計上の意義はどのようなものか。

## 岡田克也君(民主)

- ・国会議員の世襲を認めると経歴の似た人が多く輩出され民主主義を脆弱にさせると考えるが、麻生内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・法改正により政治資金管理団体の引継ぎを禁止することについて、麻生内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・麻生内閣総理大臣は「100年に1度の危機」と言うよりも、「危機を起こさない」と言うべきではないか。
- ・核廃絶について、我が国は先制使用をやめるべきと主張すべきではないか。

## 篠原孝君(民主)

- ・吉田茂内閣と比べ現内閣の閣僚は、世襲が多いこと、東京近郊の高校出身者が多いことなど偏りがあると思うが、麻生内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・農林水産省の採用において、人数を各地方ごとに割り当てても良いのではないか。
- ・医療の地域格差是正のため、国立大学の医学部は地方に移転しても良いのではないか。

## 市村浩一郎君(民主)

- ・公益法人制度改革に合わせて、公務員の天下りについてはどのような対応が採られたのか伺いたい。
- ・公の組織であるはずの公益社団法人として第一号認定を受けた全国老人福祉協議会の役員報酬を公表しないのはなぜか。
- ・全国老人福祉協議会は共益法人としての性格を帯びているにもかかわらず、公益法人と同じ寄付優遇が認められているのはなぜか。

## 穀田恵二君(共産)

- ・「ハウジングブア」という言葉が示すように、昨今の国民生活は職を失えば生存権の基本とも言うべき住居までも失う状況であることについて、麻生内閣総理大臣の認識を伺いたい。
- ・火災事故で10人が死亡した無届の老人施設「たまゆら」のような法的位置付けのない施設に、生活保護受給者は総数でどのくらいいるのか、伺いたい。
- ・社会保障抑制政策によって、公の手の届かなくなったところに貧困ビジネスのはびこる余地が出来ていると考えますが、麻生内閣総理大臣の認識を伺いたい。

## 阿部知子君(社民)

- ・自治体病院の9割は赤字経営であるが、この背景について鳩山総務大臣の認識を伺いたい。
- ・自治体病院は、小泉改革以来の地方交付税の減額に苦しんできた。地方交付税について平成21年度予算では増額されたが、今後どうするのか伺いたい。
- ・補正予算には、官庁営繕費として太陽光パネルの設置費用が盛り込まれているが、病院のように国民生活に直結する所を優先すべきではないか。

## 糸川正晃君(国民)

- ・麻生内閣総理大臣が目指す中福祉の社会は、我が国の現状に比べて良いものであるのかどうか、伺いたい。
- ・中負担となった場合、消費税の負担は、現在の水準より増えることになるのか。
- ・消費税の増税のタイミングは景気回復後と言うが、景気回復を判断する目安となる経済指標等の目標値について伺いたい。